

長野県JAバンクの地域密着型金融の 取組状況について(平成22年度)

平成23年10月



目次

- I 農山村等地域の活性化のための融資をはじめとする支援
（長野県JAバンクの農業メインバンク機能強化への取組み） …… P. 3
- II 担い手の経営のライフサイクルに応じた支援 …… P. 9
- III 経営の将来性を見極める融資手法をはじめ担い手に適した
資金供給手法の提供 …… P. 12
- IV 農山村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山村等
地域育成への貢献 …… P. 15

**I 農山村等地域の活性化のための融資をはじめとする支援
(長野県JAバンクの農業メインバンク機能強化への取組み)**

➤長野県JAバンクは、各種プロパー農業資金を提供するとともに、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取扱いを通じて、農業者の農業経営と生活をサポートしています。

➤平成23年3月末時点の長野県JAバンクの農業関係資金残高^(注1)は**570億円**(うち農業経営向け貸付金478億円)、日本政策金融公庫等の受託貸付金^(注2)残高は**215億円**を取扱っています。

(注1) 農業関係の貸出金とは、農業者および農業関連団体等に対する貸出金であり、農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に関係する事業に必要な資金等が該当します。

(注2) JAバンクが窓口となり、日本政策金融公庫などの貸付金の受託取扱いを行っています。受託貸付金残高には、JA転貸分を含みます。

【資金種類別農業資金残高】 (単位:億円)

| 種 類 | 平成23年3月末現在 |
|-----------|------------|
| プロパー資金 | 431 |
| 農業制度資金 | 138 |
| (農業近代化資金) | (55) |
| (その他制度資金) | (83) |
| 合 計 | 570 |

(注)

- 1 プロパー資金とは、JAバンク原資の資金を融資しているもののうち、制度資金以外のものをいいます。
- 2 農業制度資金には、①地方公共団体が直接的または間接的に融資するもの、②地方公共団体が利子補給等を行うことでJAバンクが低利で融資するもの、③日本政策金融公庫が直接融資するものがあり、ここでは①の転貸資金と②を対象としています。
- 3 その他制度資金には、農業経営改善促進資金(スーパーS資金)や農業経営負担軽減支援資金などが該当します。

【農業資金の受託貸付金残高】 (単位:億円)

| 種 類 | 平成23年3月末現在 |
|------------|------------|
| 日本政策金融公庫資金 | 215 |

(注)

長野県JAバンクでは、主にはJAを窓口として、日本政策金融公庫資金の受託貸付金を取り扱っています。

【営農類型別農業資金残高】

(単位:億円)

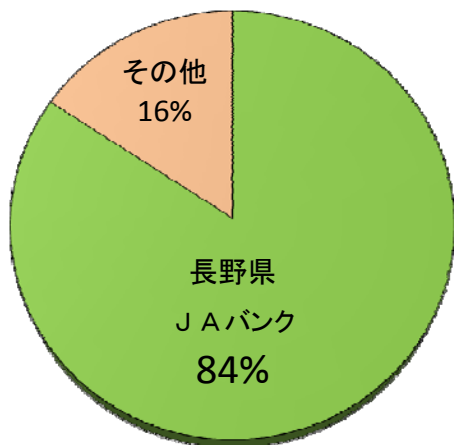
| | 平成23年3月末現在 |
|----------|------------|
| 農 業 | 478 |
| 穀 作 | 24 |
| 野菜・園芸 | 177 |
| 果樹・樹園農業 | 40 |
| 工芸作物 | 0 |
| 養豚・肉牛・酪農 | 32 |
| 養鶏・鶏卵 | 2 |
| 養蚕 | 0 |
| その他農業 | 200 |
| 農業関連団体等 | 92 |
| 合計 | 570 |

(注)

- 1 農業関係の貸出金とは、農業者、農業法人および農業関連団体等に対する農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に関係する事業に必要な資金等が該当します。
- 2 「その他農業」には、複合経営で主たる業種が明確に位置づけられない者、農業サービス業、農業所得が従となる農業者等が含まれています。
- 3 「農業関連団体等」には、JAや全農とその子会社等が含まれています。

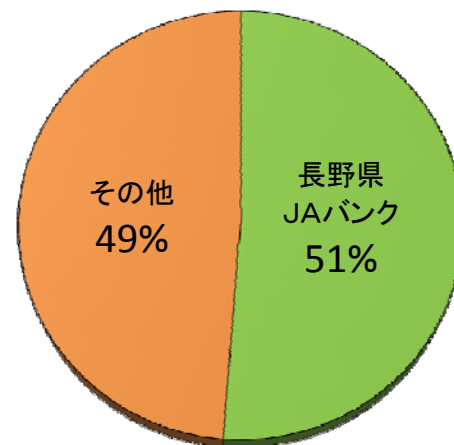
➤長野県JAバンクは主要な農業関係の制度資金である農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取扱いにおいて県内トップシェアとなっています。

農業近代化資金 融資残高シェア



2010年12月末現在
出所:農林水産省

日本政策金融公庫 農業資金取扱残高シェア



2011年3月末現在
出所:日本政策金融公庫 農林水産事業
「業務統計年報」

➤担い手のニーズに応えるための体制整備

- ・長野県JAバンクでは、地域の農業者との関係を強化するための体制整備に取り組んでいます。
- ・長野県JAバンクでは、27名の「担い手金融リーダー」を設置し、農業金融にかかる企画推進・管理をはじめ、担い手に対する融資・相談対応等、支所(支店)の活動をサポートしています。
- ・長野県JAバンクでは、本・支所(支店)の農業融資担当者が、営農・経済担当者と連携し、農業融資に関する訪問・資金提案活動を実施していきます。
- ・各連合会(JA長野中央会・JA全農長野・JA長野信連)の共通機構である「JA長野県営農センター」を通じ担い手の育成支援を行っております。

Ⅱ 担い手の経営のライフサイクルに応じた支援

➤新規就農者の支援

- ・長野県JAバンクでは、新規就農者の経営と生活をサポートするため、新規就農者向け制度資金を取り扱っています。

【新規就農者をサポートする資金の取扱い実績】

(単位:件、百万円)

| | 平成22年度 実行件数 | 平成22年度 実行金額 | 平成23年3月末 残高 |
|----------|----------------|----------------|----------------|
| 就農施設等資金 | 8 | 33 | 321 |
| 農業経営開始資金 | 0 | 0 | 4 |
| その他 | 4 | 4 | 4 |
| 合計 | 12 | 38 | 329 |

- ・農業振興等に貢献するために創設された「JAバンクアグリエコサポート基金」が新規就農希望者(研修生)の育成を行う農家等に対して費用助成を行う、JAバンク新規就農応援事業に取り組みました。

平成22年度実績 県下38件／4百万円

➤ 経営不振農家の経営改善支援

長野県JAバンクでは、経営不振農家の経営改善に向けて、関係機関と連携して積極的に取り組んでいます。

【平成22年度の農業者の経営改善支援等の取組み実績】

(単位:先)

| | | 経営改善支援取組先 | | | 事業計画策定率 =a/A | ランクアップ率 =b/A |
|-----------|------------|-----------|-------------------------|---------------------------|-----------------|-----------------|
| | | A | Aのうち期中に再生計画を策定した先数 a | Aのうち期末に債務者区分がランクアップした先数 b | | |
| 正常先① | | 104 | 17 | | 16.3% | |
| 要注意先 | うちその他要注意先② | 117 | 28 | 15 | 23.9% | 12.8% |
| | うち要管理先③ | 15 | 5 | 3 | 33.3% | 20.0% |
| 破綻懸念先④ | | 73 | 25 | 6 | 34.2% | 8.2% |
| 実質破綻先⑤ | | 35 | 13 | 9 | 37.1% | 25.7% |
| 破綻先⑥ | | 0 | 0 | 0 | — | — |
| 小計(②～⑥の計) | | 240 | 71 | 33 | 29.6% | 13.8% |
| 合計 | | 344 | 88 | 33 | 25.6% | 9.6% |

(注1) 経営改善支援取組先は、JA・信連が再生計画の策定など、経営改善支援に取り組んだ先として指定したものをいいます。ランクアップ先とは、当期末の債務者区分が期初よりランクアップした先をいいます。債務者区分が変化しなかった先とは、期末の債務者区分が期初と変化しなかった先をいいます。

**Ⅲ 経営の将来性を見極める融資手法を始め、担い手に適した
資金供給手法の提供**

➤ 負債整理資金による経営支援

長野県JAバンクでは、農業者の経営再建を支援するため、負債整理資金を取り扱っております。

【平成22年度負債整理資金の貸出実績】

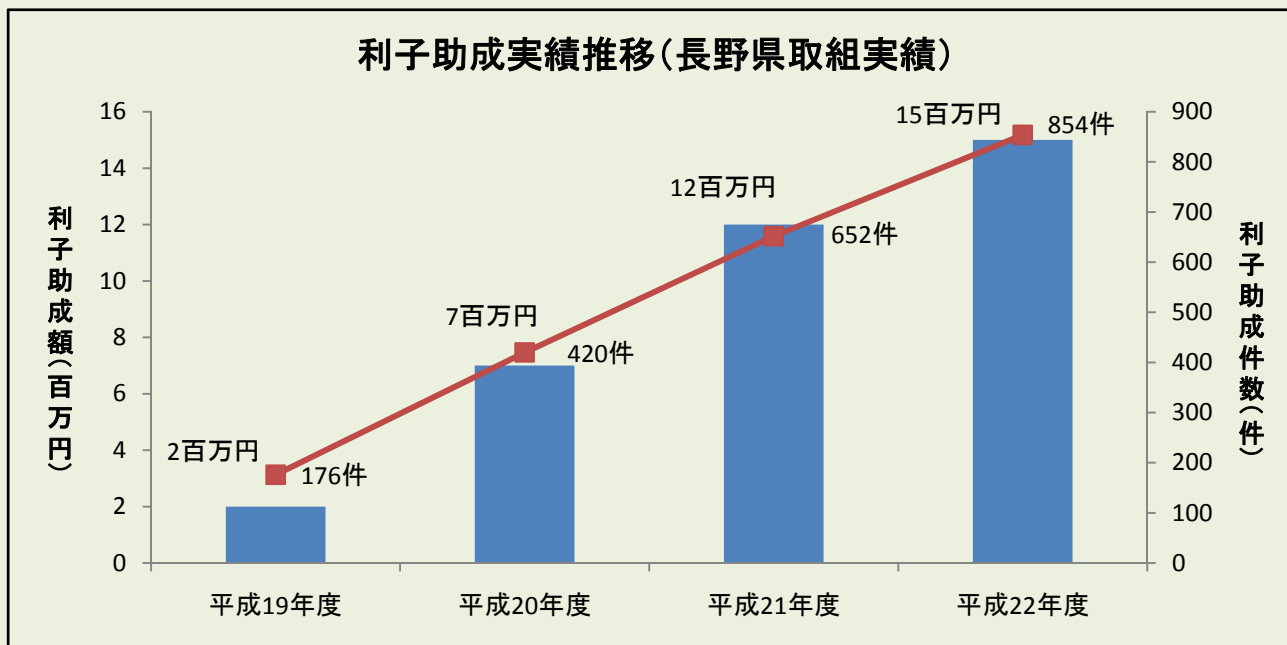
(単位: 件、百万円)

| 資金名 | 平成22年度 実行件数 | 平成22年度 実行金額 | 平成23年3月末 残高 |
|--------------|----------------|----------------|----------------|
| 農業経営負担軽減支援資金 | 2 | 51 | 194 |
| 畜産特別資金 | 9 | 346 | 1,121 |
| その他 | 57 | 224 | 1,319 |
| 合 計 | 68 | 621 | 2,634 |

- ・農業経営負担軽減支援資金は、営農に必要な資金を借り受けたために生じた負債の借換えのための制度資金であり、JAなどの融資機関において取り扱っています。
- ・畜産特別資金は、過去の負債の償還が困難な畜産経営者に対する長期・低利の借換え資金であり、JAなどの融資機関において取り扱っています。
- ・その他は、制度資金以外のプロパー資金(要綱資金、独自資金)による借換え資金などが該当します。

➤ 農業融資への利子助成の実施

- ・農業者に対する、JA農機ハウスローン・JA農業アグリマイティーローン・スーパーS資金等の融資について、農業振興等に貢献するために創設されたJAバンクアグリ・エコサポート基金が最大1%の利子助成を行い、担い手をサポートしています。



IV 農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な 農山漁村等地域育成への貢献

➤ 災害などの被災者への支援

- ・長野県JAバンクでは、災害等の被災者を支援するため、災害対策資金の創設により資金支援を行いました。
- ・このような災害対策資金について、5JAで対策を実施し、67件、147百万円の融資が行われました。

➤ 農産物価格の低迷等に対する対策・支援

- ・JA長野信連では、長期にわたる農畜産物の消費・価格低迷等に対し、農家のコスト負担軽減を図ることを目的に、JAが農家・組合員に融資している農業運転資金2,240件に対し、49百万円の利子助成を実施しました。
- ・また、7JAで対策を実施し、99件、265百万円の融資が行われました。

➤JAバンク食農教育応援事業の展開

- ・JAバンクでは、食農教育を中心とする教育実践活動を通じ、子どもの農業に対する理解の深耕、農業ファンづくりや地域の発展に貢献することを目的に、平成20年度から「JAバンク食農教育応援事業」に取り組んでおります。
- ・「食農・環境保全・金融経済」をテーマとする、小学生向けオリジナル教材本「農業とわたしたちの暮らし」を、長野県JAバンクを通じて、県下の小学校386校へ、25,560セット贈呈し体験学習等の学校での取り組みにも協力しております。
- ・また、県下JAでは、食農教育などの実践活動に取り組んでおり、これらの取り組みに対して、「JAバンクアグリ・エコサポート基金」から費用助成を行いサポートしています。

平成22年度取組 県下34件／7百万円